

通告番号 番

令和 元年 6月14日 午 前
時 分 受 領
後

氏 名 小田桐 たかし ㊟

流山市議会議長 青野 直 様

市 政 に 関 す る 一 般 質 問 通 告 書

第2回定例会における一般質問を下記のとおり通告します。

質 問 事 項	要 旨 (質意を明確、具体的に)
1、市長の政治姿勢について	(1) 夫婦の老後資金として公的年金以外に「30年間で約2000万円が必要」とする試算を盛り込んだ金融庁の報告書について、国会内外での真剣な議論をすべきところを、政府は「受け取らない」とし、与党幹部は「報告書はもうない」「選挙を控えているから迷惑を及ぼすことのないようにしっかり注意しなければいけない」などと報道されており、市民の不安や憂慮は払しょくされていない。また市年金窓口の業務にも影響しかねない。政治への信頼回復と市民の安心を取り戻すために国会の責任が求められていると思うがどうか。 (2) 市長マニフェストについて、「市街化区域内および隣接地借地の公園・緑地を順次買い上げ、緑地の永久保存を進めます」とし、具体的固有名をあげたことで住民トラブルを招く要因の一つになっているとしたら、その課題をどう捉えているのか。
2、社会福祉法人に対する監視や指導について	(1) 市内で保育園を運営する社会福祉法人のうち、平成29年度の法人決算書が未提出であり、かつ市内の保育園から市外の保育園や法人本部に対し、6千万円余の貸付が行われ、年度内返還の規定が順守されていないことが本年第1回定例会で発覚したが、法人による法令順守の取り組みはどのように進んでいるのか、また市として指導・監督にどう取り組んでいるのか。 (2) 社会福祉法人に係る法改正の趣旨に基づき指導監査体制の強化・専門性の継続を保障する人員体制が必要と捉えているがどうか。
3、教育行政について	(1) 児童・生徒に対する体罰について、研修の充実及び発生防止に向けた取り組みについて (2) 市内でのいじめについて、平成28年度末に重大事案発生後、いじめ対策調査委員会が発足し、活動してきたが、現状と今後の取り組みについて (3) 返済不要の奨学金の創設や現行制度の拡充について (4) 教師の働き方改革を本格的に進めるためにも配置教職員の増員や市単配置教職員などの増員を図るべきと考えるがどうか。 (5) 児童生徒数の推移・想定と学校の規模・配置における課題について